

停電にも負けず新たな門出 平成19年成人式

1月7日、新成人を祝う式典が保健福祉センターみなくるで開催されました。

この日は、大雪の影響による停電のため、会場内の照明や暖房が使えない中で開催となりましたが、真新しい振り袖やスーツに身を包んだ31名の新成人が出

席し、新たな門出を祝いました。

国歌斉唱と町民憲章の朗読に続き、渡邊教育委員長が式辞を述べたあと、池部町長と新田町議会議長からお祝いと激励のことばが贈られました。

このあと新成人を代表して川村水穂さん（幾寅）に対し記念品が贈られ、加藤溪祐さん（幾寅）と鈴木亜由佳さん（同）が「私達の成長を温かく見守り、育かれた両親をはじめ、多くの人たちに感謝します。自由と平等の権利のもとに、その義務と責任を果たします。」と力強く誓いのことばを述べました。

また、永井洋平さん（下山）と倉岡朋美さん（金山）が交通安全の誓いを、島憲司さん（幾寅）が謝辞を述べ、新成人の皆さんは社会人としての決意を新たにしていました。



謝辞：島 憲司さん



交通安全の誓い：永井洋平さん・倉岡朋美さん



誓いのことば：加藤溪祐さん・鈴木亜由佳さん

冬の嵐猛威を振るう

1月7日、猛烈に発達した低気圧の影響で大荒れの天気となり、大雪と暴風により町内全域に渡って様々な被害がありました。

7日未明から降り出した雪は深々と降り積もり、落合地区で積雪が60センチを超える大雪となったほか、

強風が吹き荒れるなど大荒れの天気となりました。この大雪と強風により、鹿越大橋付近に架かる送電線が切れたため、午前5時30分頃から町内全域で停電となり、金山・下山地区では午前7時頃復旧しましたが、幾寅の市街地では午後6時



△落合市街地の国道38号線沿いには湿った雪が降り積もり、雪の壁ができていました。



△幾寅地区では、数箇所電話線が切れるなどの被害もありました。

頃、農家地区で午後7時すぎ、東鹿越地区の一部では午後9時頃まで停電が続き、寒さの中照明や暖房が使えず、日常生活やこの日予定されていた成人式、全道高校カーリング選手権大会などにも大きな影響がありました。

このため、町では、早朝より幹部職員を召集し、被害状況の確認や、独居老人宅への訪問を行なったほか、特別養護老人ホーム一味園などの福祉施設では、発電機とジェットヒーターを使用し暖房を確保するなど対応に追われました。